

## 西ジャワ農村におけるスンダ人の食生活と台所

### Sundanese diet and kitchen in rural West Java

遠藤 尚<sup>1\*</sup>

Nao Endo<sup>1\*</sup>

<sup>1</sup>財団法人 統計情報研究開発センター

<sup>1</sup>Sinfonica

#### 1. はじめに

インドネシアには、ジャワ人、スンダ人、ミナンカバウ人、バタック人など数百の民族が存在し、それぞれの民族が独特の食文化を持つ。例えば、ジャワ人は甘い味を好み、パプアでは芋を主食とする人々が多いといわれている。スンダ人については、野菜を好むことで知られており、「結婚するならスンダ人に限る。庭に放しておけば、ヤギのように葉っぱを食べるので養うのが簡単」などと揶揄されてきた(阿良田2008,26)。一方で、インドネシアの都市には、ケンタッキーフライドチキンなどのファーストフード店も進出し、西欧的な食事も身近なものとなっている。また、家電製品やガス普及も都市部から徐々に進んでいる。スンダ人が主に居住する西ジャワは、ジャカルタと隣接しており、都市化の影響を最も受けやすい地域であるといえる。本報告では、統計データとフィールド調査に基づいて、西ジャワ農村の食生活の実態について明らかにすることを目的とする。

#### 2. 対象地域と研究方法

調査対象地域は、ジャカルタの南60km、ボゴールの南西10kmに位置するスカジャディ村、チアンジュールの西6kmに位置するガソル村、東10kmに位置するスラジャンベ村の3村である。いずれの村も住民の大部分がスンダ人によって占められている。今回の報告では、2003年に3村で行った家屋や資産に関する調査結果、及び2001年以降報告者が住み込みで滞在した世帯の事例を用いる。調査世帯数は、スカジャディ村85世帯、ガソル村48世帯、スラジャンベ村33世帯(各村1, 2隣組のすべての世帯)である。また、利用した統計データは2007年インドネシア社会経済調査の州別集計データである。

#### 3. 西ジャワ農村の食生活と台所

統計データを分析した結果、西ジャワ州農村部の1人1日当たりの消費カロリー構成において、穀物が54.3%を占めていることが分かった。これは、インドネシア全体、およびジャワ島の他州よりも高い。逆に、野菜類、油脂、飲料からのカロリーについては、インドネシア全体やジャワ島の他州よりも低い割合を示している。つまり、スンダ人は他の民族よりも生野菜を好む民族かもしれないが、野菜を多く消費する民族ではないといえる。また、西ジャワ州では、都市よりも農村、高所得層よりも低所得層の方が穀物への依存度が高い。

調査村の食事は、ご飯、サンバル、塩干し魚、野菜などの料理1品（生野菜や野菜、豆腐を使った料理、インスタントラーメンなど）、クルプックなどから構成され、このような食事を通常1日2回取っていた。このほかに、揚げ物や蒸した芋などの軽食を1～2回摂取する場合もあった。このような通常の食事において、インスタントラーメンの利用以外に新規の外来料理の浸透はほとんどみられなかった。

煮炊きを使う燃料は、現在、灯油コンロが最も普及しており、世帯が主に使う燃料として、3村でそれぞれ、48.2%、77.1%、90.9%を占めていた。ただし、国立公園と隣接したスカジャディ村では薪が51.8%、チアンジュール市とのアクセスが容易なガソル村ではガスが14.6%を占めており、地域差もみられた。また、1つの世帯がかまど、灯油コンロ、ガスコンロを同時に所有し、燃料の価格変動によって、主要燃料を灯油から薪、ガスから灯油などに切り替える事例もみられた。利用する燃料によって台所の設備も異なっていた。例えば、米の調理において、かまどではセエン、アspanなどの伝統的な道具、灯油コンロでは鍋が利用されていた。また、少数ではあるが電気炊飯器を利用する世帯もみられた。その他の家電製品については、一部の世帯が冷蔵庫を所有していた。これらの世帯のほとんどは、冷蔵庫を食材や料理の保存ではなく、飲料水の冷却に利用していた。これは、調理済みの料理を長期保存する習慣がなく、食材は商店や行商人から少量ずつ毎日購入可能であること起因していた。

#### 4. おわりに

以上のように、スンダ人の食生活は特に野菜の比重の高いものではないことが明らかとなった。スンダ人の食文化として野菜が取り上げられるのは、消費量というよりも、他の民族ではほとんど食べない生野菜を好むことから来していると考えられる。また、西ジャワ農村部にも、燃料の変化や家電製品の所有がみられる一方で、日々の食事内容自体は伝統的なものからほとんど変化していないことが分かった。しかし、スナック菓子に偏った子供の買い食いの一般化により、子供の摂取する栄養バランスが崩れているという報告もみられる。また、インスタントラーメンが副食、もしくは軽食として非常に頻繁に利用されている。このように、西ジャワ農村では、間食や副食から低価格の加工食品の普及が進んでいることが推察される。

キーワード:食文化,食生活,燃料,台所用品,スンダ人,西ジャワ

Keywords: food culture, diet, cooking fuel, kitchen equipment, Sundanese, West Java